

クラブOB会だより

平成17年度野球部OB会とOB戦観戦記

伊藤 潔 (昭59)

11月12日の土曜日、午後6時から毎年恒例の長葉野球部OB会が開催されました。場所は江山楼浦上店。聞くところによると、いくつかの催し物の日程と重なったらしい。そのためいつもの畳の会場がイス席に変わったのを除けばこれも恒例となった会場である。紹興酒の小瓶もサービスされ、いつから使わせていただいているのか、正確な記憶はないが、お店にも気を遣っていただくほどの会になっていたのかと勝手なことを考えてしまった。今年の参加者は、OBが昨年と同じ39名、現役部員が29名の68名。九州外からの参加者が5名もあり、お名前を挙げさせていただく。昭和31年卒の森健治先輩は埼玉より、「5年ぶりくらいか」とのことでした。昭和35年卒の北島四郎先輩は大阪から2年ぶり。平成2年卒の城戸充彦氏は名古屋より、何年ぶりかわからない久しぶりの参加。それから、平成14年卒の川端、鈴木両氏は共にはるばる東京からの参加。ありがたいことです。ちなみに、OBのうち昭和組は15名で、昨年よりも2名増。他は平成の若武者たちだ。

案内でもお知らせした通り、今年はニュースの多い年となった。平成17年9月19日に、突然35歳の若さで還らぬ人となってしまった平成6年卒の小畑滋氏。今年に入ってから野口繁一先輩(昭9)、野村智城先輩(昭25)のお二方も亡くなられており、会に先立って3氏のご冥福を祈り全員で黙禱を捧げた。一方、明るいニュースもありました。ここ数年、あと一步のところまで涙をのんできた野球部が、6年ぶりとなる通算5度目の九葉連優勝を果たした。また、昭和57年卒の中嶋幹郎先輩が、我が長崎大学薬学部の病院薬学研究室の教授に就任された。1年という間にはいろいろなことがありますが、いつもの顔、久しぶりの顔、はたまた初めての顔に会い、時の流れを実感したり、

その流れに逆らおうとしてみたりできる会のようです。

司会進行は前キャプテンの菅原隆文君。九葉連の優勝を堂々とOBに報告し、出席者の注目は前方に集中しました。まずは、西脇金一郎同窓会長(昭33)のご挨拶。申し上げるまでもなく、野球部だけでなく長葉同窓会の会長も務められ、本OB会には欠かさず出席していただいている長葉OB会の父です。中嶋幹郎先生には教授ご就任の記念として、野球部から現チームの帽子を贈呈し、それを深くとかぶった姿でご挨拶を頂戴しました。さて、乾杯の音頭は森健治先輩にお願ひし、今年もプレーボールが宣言された。

宴会の様子は昨年、一昨年、あるいはもっと以前の同窓会報をご参照いただきたい。「いいものは変わりません」。院生を含む現役学生による巻頭言と校歌斉唱。今泉貴世志先輩(昭31)からの準硬式ボールの贈呈。を見つめることができるはず。全出席者が注目する10分間だけ記しましょう。翌日開催するOB対現役の親睦試合のOB側先発メンバーの発表。ピッチャー今泉(昭31)、キャッチャー鈴木(平14)、ファースト中嶋幹郎(昭57)、セカンド城戸充彦(平2)、サード井石政之(平4)、ショート佛坂浩(昭61)、レフト田中博隆(平11)、センター秋吉隆治(平3)、ライト山本稔(平2)。加えてピッチャー、吉田研次(昭37)、平川善章(昭63)、川端英司(平14)。晴れの先発メンバーは九葉連優勝の現役チーム打倒を目指し、気合いを入れた。締めは、忙しい中、昨年に続き駆けつけてくれた日宇宏之氏(平7)、万歳三唱で野球部OB会の発展を祈った。失礼ながらベンチスタートのOB選手の名前は以下の通り。森健治(昭31)、西脇金一郎(昭33)、北島四郎(昭35)、高木康(昭35)、松田米人(昭50)、菅原正典(昭

51), 田原務(昭51), 濱田哲也(昭54), 伊藤潔(昭59), 久松貞義(昭60), 鶴屋伸一郎(平3), 金村隆則(平6), 大石貴裕(平7), 豊山英樹(平7), 日宇宏之(平7), 菓子野元郎(平8), 横道重治(平8), 平良文亨(平9), 八木洋一(平9), 坂田真人(平15), 永川貴(平16), 小川恭平(平16), 富盛裕司(平16), 三宅洋一郎(平16), 牟田響(平16), 卜部奏(平17), 平林圭輔(平17)。会の模様の写真等は, 野球部同窓会ホームページでもご覧ください。http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/dousou/club/baseball/homebase.html

OB戦観戦記

平成17年11月13日(日曜日)。恒例の長葉野球部OB戦は, 紅白戦の1イニングに続いて10時ちょうどにプレーボールとなった。先攻はOB。1番今泉は昨年に引き続きノーアウトのランナー(臨時代走は卜部)。2番鈴木も続いて, 2, 3塁。3番坂田の内野ゴロの間に待望の先取点をあっさりゲット。久々の参加で4番に入った城戸は四球を選び, 追加点を狙ったが, 5番井石は2ゴロのダブルプレーに打ち取られ, 初回の攻撃を終えた。残念ながら今泉先生は所要のため, 1回の打席のみで, OBの先発マウンドには, 前夜の宴会を, 重なったクラス会のため泣く泣く欠席した吉田



OB会



先発メンバー



OB戦

(昭55)。子供からは「おやじ」といわれるとつぶやいていたが、正真正銘の野球親父。草野球、草ソフトで日頃から鍛えた体で現役先頭の新人・川崎を迎えた。その後は省略して、試合経過は下のスコアボードを見ていただこう。現役の実験的な守備とセンター中心にはじき返すシャープな打撃が目立った試合だった。九葉連に優勝するにはこれだけの実力が必要だということでしょうが、実はOBチームのメンバーも実力派(だった)。九葉連大会は昭和34年に始まったと聞きますが、最初の優勝投手の吉田研次(昭37)。2回目の優勝は昭和46年の大会とのことなので、仕事が多忙を極めていた年代。3回目の優勝は西木紳一(故人)、吉田泰史(共に昭55)の二人の投手を擁していた。そして前回の4回目優勝時のバッテリーは川端英司、鈴木秀明(共に平14)。そう、歴代の優勝投手が力投していたのです。点差は開いたけれど、最後まで締まってできた試合と感じさせてくれた。印象に残ったものを独断で挙げさせていただきます。井石政之(平4)。練習する時間はほとんどなくても薬剤師のチームをまとめて試合をこなす野球親父。外野への快心の飛球が印象的だった。平川善章(昭63)は昨年に続き、粘り強いピッチング。ヒゲの佛坂浩(昭61)は守備に打撃に往年のセンスの片鱗をのぞかせた。2時間の試合中、筆者の勘案事項は来てくれたOB全員に試合に出てもらおうこと。見逃した好プレーもあったに違いない。記念撮影

の後、全員ケガもなく無事に皿うどん会場へ向った。

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
O B	1	1	0	0	0	2	0	0	0	4
現 役	3	4	3	1	4	0	0	0	X	14

試合後は恒例の皿うどん+パーティー、畳が新調され格段に美しくなった(?)集会場で、野球おやじ達を若い実力派現役部員が囲んだ。現役の九葉連優勝を自分のことのように喜ぶOBは、新制現役チームのために捕手用防具一式の支援をその場で募り、藤村キャプテンに初の2連覇の夢を託した。なぜかOB戦参加者のポジションはピッチャーが多い。何かと問題のある部員を率いてマウンドに立っていた苦勞は忘れられないのだろう。今年は外野の人材が不足気味だったが、マウンドを見送りレフトに回った田中(平11)は、ピッチャーのしんどいところを好捕で救った。センター秋吉(平3)、同期のレフト山本(平2)は、早い球足で飛んでくる現役の打球を右に左に、また後ろに追いかけてくれた。偶然にも誕生日と重なった秋吉君、歳は書かないけれどおめでとう。毎年の参加、感謝します。

全国のOB諸氏。昔のグローブまだ押し入れにしまっているでしょう。息子さんのグローブを借りるのも良案です。失くしてしまった方には無料の貸し出しもありますよ。

第21回薬学硬式庭球部OB会

三宅 秀明 (平17)

11月5日、6日の2日間、第21回薬学硬式庭球部OB会を開催いたしました。

5日は松山の市営コートでOB対現役生による対抗戦を行いました。途中天候が悪くなることもありましたが、テニス日和のなか、今年は5面のコートを貸し切って、多くの試合ができました。結果はOB15勝4敗、OG5勝2敗と、今年もOB、OGの圧勝に終わりました。対抗戦後、懇親会を宝来軒別館にて行いました。参加者はOB、現役生合わせて約70名にのぼり、盛大に行うことができました。懇親会では、石黒先生のお話、山本先輩(院昭55)のお話、お昼の試合のこと、恒例の庭球部の歴史、就職についてのアドバイスを受けるなど、様々な話題で盛り上がり、OBの方々と現役生とのつながりが深まったように思います。

6日は雨のため残念ながらテニスを行うことはできませんでしたが、今年も多くのOBの皆様が集まっていただき、盛大なOB会となりました。今年の現役生はいい素材が集まっているように思われますので、来年はもっと白熱した対抗戦になると思います。

最後になりますが、長崎大学薬学硬式庭球部は今年でOB270人、1年生も14人入部して薬学部の中でも大きな部の1つとなりました。今年は残念ながら出席できなかった方も、ご都合がございましたら是非、来年はご参加ください。現役一同、心よりお待ちしております。

今年のベストマッチ

(現役&来期部長 vs.石黒先生&山本先輩ペア)



平成17年度軟式庭球部OB会

雄野 智子 (学部4年)

11月26日の土曜日、午後6時から毎年恒例の長楽軟式庭球部OB会を開催いたしました。今年はOBの方がたくさん来られ、大盛況のOB会となりました。開始時刻前から降り出した雨のため、集合に若干の心配を抱えていましたが、OBの方をはじめみなさんの集まりはとてもよく、感激しました。

今回の参加者は、OBの方が11名、現役部員が26名の総勢37名。こんなにたくさんOBの方が来てくださったOB会は、私が出席したなかでは初めてです。参加されたOBの方のほとんどは、私達をかわいがってくださった先輩方ばかりでした。久しぶりにお会いした先輩方は以前と変わらない笑顔で私たちに接して下さって、お世話になっていた頃を思い出し、たいへん懐かしくなりました。席のあちらこちらで、仕事の話やテニスの話などで盛り上がっていたようで、幹事として

もその光景を嬉しく感じました。OBの方から就職・進学についてのアドバイスもらった現役学生も多く、また後輩たちも研究室配属や普段の講義のことなど、上級生から話を聞いたりして、それぞれが有意義な時間になったのではないかと思います。

翌日のOB戦は雨のため中止となり、物足りないOB会にはなりましたが、OBの方々の「楽しかった」の声をたくさんいただきまして、本当に嬉しくまたありがたく思っています。OBのみなさん、お仕事お忙しいにもかかわらず、時間をさいて出席していただき、本当にありがとうございました。来年も今回のような楽しいOB会になるといいですね。このようなOB会がずっと続いていき、いつまでも先輩後輩のつながりがある軟式庭球部であってほしいと感じました。

